

すんまへん。



天下にその名を轟かせる大アートディレクター大貫卓也さんの壮大な企画。その実現のために中島信也を投入する、というのは担当のプロデューサーからすればごくまっとうな判断やっただとは思いますが、そやけど！大貫卓也さんは中島信也が好きになかったんです。CM界でクリエイターっぽい感じでのさばりはじめつつあった中島を、どっちかという嫌った。その真実をプロデューサーくんは知らなかった、いや、そんな裏事情、知る由もなかったと思います。プロデューサーくんは言いました。「二度大貫さんと打ち合わせしてほしいんだよ」「はい、あ、大貫さん：○▲#※□▽w:。」と意味不明な

返事を返すべく。でもいつかは打ち合わせをせなあかん。どないなってるんでしよう。ああ恐怖の見切り発車。

満面に笑みをたたえた宮崎晋CDの「中島さん、大貫のやりたいことを実現させてあげて！」というお言葉をゴングに打ち合わせは始まりました。：あ、大貫さんや、この前の美人連れ事件のときと同じ目つきや、めっちゃめっちゃ嫌われてる、あれはちゃうんですよ大貫さん、あの、ぼく、何でも言うこと聞きます！だから、嫌わんといってください！仲良き事は美しき事哉！ね！：：という心の叫びも空しくいきなり強烈パンチの応酬をくらいました。



んの疑いに満ちた眼差し。痛い。すんません、痛いです。ホントはなんもわかってません！「でさ、合成で作りました、ザ・デジタル、アリナミンV！みたいなものには絶対にしたくないんだよね！」あ、アリナミンV！ぼくが技術陣と培ってきた「ザ・デジタル」の金字塔！！にはしたくないって大貫さんぼく：：どないしたらええの、パパ！「あ

あ、アリナミンVね、あれはね、そうですよ、そうですよ」「わかりますよね！？」「はいあのー、できるだけあれですかね、あのー」と、内容のない返事。ダウンです中島信也ダウ

ン。だれかゴングを鳴らしてください！「決め手はマンモスの大きさなんだよね」と机にずらりと並べた大から小まで30種類くらいの大きさのマンモスの切抜き。「イマイくんさあ、これとこれの間で10段階の大きさにコピーとってくれる？」「はい」15番と16番の間に並んだ、15・1番、15・9番までのマンモス。いっしょやん、大貫さん、大きさいっ

福本容子の

数を
読む

8611500人

銀座に出かけると、中国からの旅行者が本当に増えたなど実感する。デパートや有名ブランド店の並ぶ中央通りには、夕方になると中国人旅行者を乗せた大型バスが次々と到着。買い物というよりバス全体に「消費」と大書きされている迫力だ。

最近、ツアーだけでなく、まるで日本の家族みたいな中国人旅行者も見かけるようになった。個人観光をする人たちへのビザ発給が緩和されたことが目でわかる。30代くらいのお父さんが子どもの手を引いてゆったりと歩いたりする。

日本政府観光局が発表した推計値によると、2010年に日本を訪れた外国人の数は861万1500人で過去最高となった。前年比27%増。急に増えてきたため中国人旅行者が何かと話題になるけれど、総数1位は韓国。244万人で2位の中国（香港を除き141万人）、3位の台湾（127万人）との差はまだ大きい。

で、外国人の彼らが日本にやって来る最大のお目当ては？
「買い物」と思いきや、実は「食」なのだそう。政府観光局の報告書「訪日外客訪問地調査2009」によると、訪日前に期待したことのナンバーワンは「食事」で、2位の「買い物」、3位の

「温泉」を上回った。

韓国や中国、台湾などアジアからの旅行者が上位を占めるためだろう。人気は①すし②ラーメン③刺身④てんぷらの順。まだまだ入門編といったところか。これからだ。

食が魅力というのはとても有望なことである。エッフェル塔は一度上れば大満足する。東京で体験する必要もない。でも、一度、味わって感激した食べ物に、日本に行かなくても味わえたいいな、となる。そこがチャンスなのだ。
海外にラーメンや天丼のチェーン店を出すというのがまず思い浮かぶ。でも外食ビジネスだけじゃない。食材やレトルト・インスタント食品、お菓子、飲料など売り込めそうなスター準備軍が山ほどある。

海外に行くと、日本の食品っぽいのに、日本人が普段食べているものとは似て非なる「なんちゃって日本食」に出くわす。カタルのドーハにある大型スーパーでは、柿らしき果物が「kaki」と書かれて売られていたし、ロンドンのスーパーではりんごの「fuji」やみかん（なぜか「satsuma」と紹介されている）が並んでいた。日本人ならお金を払って食べたたりはしない代物なのにな……。

しよんこれ！「なーかじまさんどれだと思えます？」「え！？あ、こ、これですかね……」「うーん、ちょっと小さくないですか？」「うーん、しよんこの15・3と15・4って。」

リングの真ん中に臥したほくの目の前に並んでゆく微妙に大きさが違うマンモスたち。そこにほくは今、ふたたびの、天才の降臨を見たのです。「さ、佐藤雅彦さん以来の天才や」天才に出会うと中島信也は勝手に絶対服従を決め込むわけです。自分の価値観や主張をぜんぶ棚上げして殿にお仕えする良き家臣へと、あざやかに変貌してまうんです。大貫さん！ついていきます！

中島信也（なかじま しんや）
CMディレクター。1959年福岡県生まれ。
（株）東北新社専務取締役。
1982年武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科卒業（株）東北新社入社、1983年TVCM演出家となる。武蔵野美術大学客員教授、宣伝会議コピーライター養成講座講師などを務める。

代表作にカンヌグランプリ「日清カップヌードル」、「unibw」、ACC賞グランプリ「サントリー燃焼系アミン式」、ADC賞グランプリ「サントリー伊右衛門」。
東京アートディレクターズクラブ会員。
「天島美容室」T市MOVIE監督。

海外で見かけるインスタントラーメン

もがつかりの代表だろう。カレーやパスタソースのレトルト食品は日本が世界に誇っているハイテク商品だ。スナック菓子も、あんなにおいしくて可愛い食べ物もなせもって売ってしまえないの？

まずは味を体験してもらおうことか。外食でラーメンやてんぷらは食べなくても、ホテルや旅館に泊まる観光客がレトルト食品やコンビニで売っているようなお菓子が触れることは限られる。ならば機内食でもって紹介してもらおうとか、空港や主要駅なんかには、自由に商品を選んでその場で食べることもできるインスタント食品カフェを作ったりしてもおもしろそう。もちろん外国の雑誌やテレビ、ネットのサイトなどで紹介してもらおう。

やれることはいっぱい。でもさっさとしないと、ビジネスマインド旺盛な香港の人や韓国の人にチャンスを持っていかれるよ。

福本容子（ふくもと ようこ）
1962年熊本県生まれ。
87年毎日新聞社入社。英文毎日編集局、毎日新聞外信部を経て96年より経済部。2001年4月、05年3月、欧州総局特派員としてロンドンに駐在。08年4月より論説委員。